

ラハシタルニヨリテ、人ノ心エヤスキヤウニ、多分ニツキテ云フ歟、

〔下學集上〕氣形龍蹄逸馬異名也追風逸馬異名也鬻膝鬻蹄騏驎以上皆駒駒蹄駿足二共凡

〔塵袋四〕一駿足トハ牛馬ノハヤキヲバ共ニ云フコト歟、牛馬トモニ、ハヤキヲバ駿足トハ云フ

メリ、但シ駿足トハ馬ノ異名云云、ム子トハ馬ヲ云ベキ事歟、

〔瑤囊抄七〕凡テ馬ノ異名多侍リ、龍蹄リウテイ龍駒リウク駿足ジュンソクナンド常事也、浮雲ヒト飛兔セウリウ蒼龍ソウリウ紫鸞シ絶塵セツチンナンド云、

皆是駿馬ノ名也、驚駘トクハ跛驢ハナンド云ハ驚馬也、

〔伊呂波字類抄〕沛艾ハイカイ馬ハイサム也

〔康熙字典〕艾中略張衛東京賦齊騰驥而艾肺艾注肺艾作姿容之良也

〔源平盛衰記二十八〕宗盛補大臣并拜賀事

頭右大辨親宗朝臣吉書ヲ下シテ次第ノ事ヲ被宣下ケリ、内大臣被供奉タリケルニ、馬肺艾シテ

春日ノ大宮ニテ高クアガリテ走り廻リケレバ、路上ニ下リ立レケリ、見物ノ貴賤、異口同音ニ稱

美シケリ、

〔尺素往來〕祇園御靈會中晚頭白河銚、可入洛之由風聞候中、仍爲其警固侍所之勢、就可被打出

河原邊、同御進發之旨傳承候之間、蟠螂二十疋牽進之候、

〔安齋隨筆〕十、蟠螂廿疋、一條兼良公の尺素往來に、蟠螂廿疋進之候とあり、是は馬を卑下してカ

マキリの如くやせたる馬と云事也、此外の書にも瘦馬の事を蟠螂と書たるあり、俗に瘦たる人

を見てタウロギの如くやせたりと云は、蟠螂の云ひ誤也、カウロギと云虫もあるゆへ、紛れて云

誤れる也、事あるか追て尋ねべし、

〔新撰字鏡〕驚駘馬同、五高反、平、駿

〔倭名類聚抄十一〕馬、駿音俊、漢語抄云、土岐字萬、日本馬之美稱也、

馬性質